



原木しいたけ生産再開に向けての支援を継続

す。
また、当市に隣接する陸前高田市と宮城県気仙沼市に対しては、職員派遣を中心とする後方支援を行っている。近いところが助ける「近助」の精神に沿って後方支援を継続していきます。

5. 中東北の拠点都市 一関の形成

① 地域資源をみがき生かせる 魅力あるまち

● 農林業の振興

農業所得の向上に向け、農畜産物の高付加価値化や販路拡大などの取り組みを進めます。集落営農組織の育成や担い手への農地の集積を図り、農業の振興と農村地域のコミュニティを維持、発展させる取り組みを進めます。

また、森林資源を活用しながら、林業の振興に努めます。

● 工業の振興と企業の育成

研修の機会を設けて地域企業の品質管理能力の向上を図り、質の高いものづくりを支援します。

また、企業間の活発な交流を促進し、新産業、新技術の創出などの支援に努めます。

さらに、企業の設備投資等への優遇制度や立地環境の優位性をアピールし、企業誘致と事業誘致に積極的に取り組みます。

● 商業の振興

経営相談や経営指導の充実、起業支援など、工業分野も含めて、中小企業の経営の効率化、健全化を促進します。

また、商店街のにぎわいを取り戻すため、新規創業や事業承継などへの支援を行うほか、空き店舗への入居支援や集客につながるイベントの開催を支援します。

● 農商工連携

一関産の農林畜産物を活用した商品開発や販路拡大に向け、第一次産業、第二次産業、第三次産業が連携する農商工連携を積極的に推進します。

● 観光の振興

一関・平泉エリアの観光地域づくりをマネジメントする組織として活動を開始する、日本版DMO候補法人を平泉町とともに支援します。



森林資源などの地産地消に取り組む

また、昨年9月に一本化された一関市観光協会を支援し、オール一関での観光地域づくりを推進します。

② みんなが交流して 地域がにぎわう活力あるまち

● 道路の整備と維持管理

安全安心で快適に利用できる道路環境、交通安全施設の整備や道路インフラ、橋梁の長寿命化に努めます。

● 公共交通の確保

市営バスやデマンド型乗合タクシーなどにより、市民の生活の足を確保します。

また、地域の実情に合った、効果的で効率的な公共交通ネットワークの構築に向け、新たな公共交通計画の策定に取り組みます。

● 地域づくり活動の活発化

自治会などの活動の支援やいちのせき元気な地域づくり事業、地域おこし事業などにより、地域づくり活動を支援します。

● 結婚支援

独身男女の出会いの場を提供する結婚活動の支援に努めるとともに、結婚に伴う新生活のスタートアップも支援します。

③ 自ら輝きながら 次代の担い手を応援するまち

● 教育の振興

「教育に関する大綱」に掲げる「学びを広げ、人と地域が共に育ち、一関の未来を創る」という基本目標の実現に向けて、教育委員



効率的な公共交通ネットワークを構築する

会と連携して教育の振興を図ります。

● 学校施設の整備

30年度から東山小学校の校舎などの改築に着手するほか、花泉地域統合小学校の新校舎建設に向けた取り組みを進めます。

● 社会教育の推進

生涯の各時期に応じた多様な学習機会を提供するとともに、市民センターの指定管理者に対し、社会教育事業に関する研修、指導や助言体制を充実します。

④ 郷土の恵みを未来へ引き継ぐ 自然豊かなまち

● 環境対策

住宅用の新エネルギー利用設備の設置を支援するなど、新エネルギー・省エネルギーの取り組みを推進するとともに、空き家の適正管理や利活用などの対策を進めます。

● 汚水処理

公共下水道の整備を進めるとともに、浄化槽設置を促進し、公共用水域の水質保全と快適な生活環境の向上に努めます。

また、下水道等に未接続の世帯や事業者に対して早期の接続を促すとともに、施設の適切な維持管理に努めます。

● 水道事業

施設の適正な維持管理と経営基盤強化を推進するとともに、老朽化した施設の更新や耐震化を計画的に進め、水道水の安定供給に努めます。

⑤ みんなが安心して暮らせる 笑顔あふれるまち

● 地域医療

医師確保のため、当市独自の医師修学資金貸付事業の継続した取り組みを進めるとともに、新たに助産師の資格取得に向けて、修学資金貸付制度の拡充をするなど、医療人材の確保に努めます。

併せて、地域医療を守るため、国保藤沢病院と市内県立病院などが取り進む総合診療専門医などの養成事業を支援するとともに、医療機関の適切な受診のあり方の周知に努めます。

● 障がい者支援

基幹相談支援センターを中核とした相談支援体制の充実を図るとともに、医療的ケアを必要とする障がい者を介助する家族の負担軽減を図ります。



防災意識の啓発に努める

● 治水対策

一関遊水地事業をはじめとする減を図るなど、障害福祉サービスの提供体制の拡充に向けた取り組みを推進します。

また、企業間の活発な交流を促進し、新産業、新技術の創出などの支援に努めます。

● 国民健康保険

30年度からの国保都道府県単位数に伴い、県が示した標準保険料率などにより国保税率等の見直しを行います。

● 防災のまちづくり

30年度はアイオン台風から70年目となることから、一層の防災意識の啓発に努めるとともに、地域防災力の向上を図ります。

また、自主防災組織や防災リーダーの育成強化に努めるとともに、消防施設・設備の計画的な更新整備、防災行政情報システムやFMあすもなどにより災害時の迅速で的確な情報提供に努めます。

6. 市政運営の基本

治水事業の早期完成を目指します。
また、土砂災害の警戒が必要な危険箇所点検を実施するとともに、土砂災害警戒区域等の情報や警戒避難態勢の周知を図ります。

協働のまちづくりは、地域の将来を築いていくためには欠かせない仕組みであり、これをさらに充実させていく必要があります。

そのため、新しい一関市地域協働推進計画の策定に取り組むとともに、協働のまちづくりがより深く根付くよう各地域・各分野でリーダーとなる人材の育成や企業の参画を促進します。

各種施策を推進していくためには、その裏づけとなる財政の健全性の確保が必要です。当市の財政見直しは、今後も厳しい状況が見込まれることから、引き続き市民起点に立つた質の高い行政サービスが提供できるよう、一層の行政改革を進めます。

また、公共施設等総合管理計画に基づき、持続可能な施設運営の取り組みを進めます。
中東北エリアでの連携については、これまでの連携が一層深いものになっていくよう取り組み、スケールメリットを生かした地域課題の解決につなげたいと考えています。

7. おわりに

私にとって20年来の念願でもあるILCが、実現に向けて進んでいます。ILCの誘致が実現することで、一関が100年以上にわたり、科学技術の研究拠点として世界をリードしていく地域となり、人口減少などの市が直面する課題に対しても、光明が差し込むと信じています。



次世代を担う子供たちのためのまちづくり